

(様式3)

事業所名 グループホーム さくら

目標達成計画

作成日: 平成29年12月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害対策、土砂災害において避難ルートの確保が明確ではない点について、話し合いは重ねているので、具現化出来るようにしなければならない	法人本体との連絡通路(避難用)設置。 火災・地震についての避難訓練だけではなく 水害・土砂災害についての避難訓練も行う。	運営会議等で法人事務局に働きかけを行う。 消防訓練担当者にプラスして、震災・災害担当を配置。災害・震災についての訓練も行う。	6ヶ月
2	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、早い段階でという点について、はっきりとどのような状態の時というものが無く判断が難しい自事業所での看取りの指針をスタッフが把握していない。	看取りの指針について、改めて作成し、スタッフが周知徹底できるようにする。 御家族に対しても、今後の事を話し合う機会を密に持つようにする。	看取りについての指針を管理者が作成する。 スタッフに指針を提示した上で、勉強会や会議において、摺合せを行なっていく。	6ヶ月
3	19	居心地のよい共用空間づくりについて、利用者様の目線、危険の無いような掲示物の貼り方を工夫する。	虫ピンを使わない方法を考える。	参考にご意見をいただいた、ホチキスの針での掲示方法に全て移行する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。